

令和 9 年 度

生 活 環 境 学 部

第 3 年 次 編 入 学 者 選 抜 学 力 試 験 問 題

小 論 文

〔文化情報学科 生活文化学コース〕

令和 8 年 6 月 6 日 (土)

10 : 00 ~ 11 : 30

注 意

1. 解答は、別添の解答用紙に書くこと。
2. 総ページ数 ——— 5 ページ
問題ページ ——— 第 2 ~ 5 ページ
(第 1 ページは、下書き用紙)
3. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

I 以下の資料1を読んで、次の問1～3に答えなさい。文字数の指定はありません。

【問1】 筆者の言う「第三の波」は、「第一の波」や「第二の波」とどのような点で最も異なっていると思うか、あなた自身の考えを述べなさい。

【問2】 「消費者市民社会」とは何か、また、その実現に向けたプロセスにおいて消費者団体が果たしうる役割とはどのようなものか、答えなさい。

【資料1】

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：松本恒雄「消費者市民社会における『ESG消費』の意義」国民生活研究第64巻第1号（2024年）

Ⅱ 以下の資料 2 を読んで、次の問 1～3 に答えなさい。文字数の指定はありません。

【問 1】資料 2 では、2000 年以降の子どもの出生に関する日本の状況が説明されています。2000 年から 2024 年までの合計特殊出生率と出生数の推移の傾向について、資料中の図から読み取れることを説明しなさい。

【問 2】資料 2 での試算をもとに、2025 年の日本における合計特殊出生率と出生数の変化について推測されることを、その変化の背景として想定される社会の状況を挙げたうえで説明しなさい。

【問 3】資料 2 では、東京都など 2025 年の数値予測で「出生率が横ばいから上昇に転じる可能性のある地域」があると指摘されていますが、出生率を上昇させるために政府や自治体は具体的にどのような施策を行えばよいのか、あなたの考えを詳しく述べなさい。

【資料 2】

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

図 2000 年から 2025 年までの合計特殊出生率と出生数の推移

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：日本経済新聞 2026年4月23日 「25年の出生率1.13前後 民間試算、出生数は初の68万人割れ」